

台湾 淡江大学

[2019年9月～2019年12月分]

現代政策学部2年 大久根琢海

みなさんこんにちは。私は、台湾にある淡江大学で2019年9月から1年間の留学を予定している大久根琢海です。留学に来てから早くも3か月が経ちました。最近では、台湾も寒くなってきていて、寒い日にはダウンを着て過ごす日もあります。特に淡水は台湾で一番寒い場所なので寒さ対策は必須です。台湾には暖房がないため部屋の中でも上着を着て過ごすことがあります。冬でもお店の中やバスの中は冷房がついていることもあります。

今回は、寮と授業について書いていこうと思います。



[寮について]

私は、淡江大学の敷地内にある麗澤国際寮に住んでいます。ここには世界各地から来た人と住んでいます。そのため英語が公用語となっています。また男女も一緒に暮らしています。男の人の部屋は2階と3階にあり、女の人の部屋は4階と5階にあり、男の人は4階以上に行けないようになっています。男の人は2人か3人部屋で女の人は3人か4人部屋です。部屋は変更することも可能になっています。寮のベースメントは娯楽室になっています。そこは自由に使うことが可能です。卓球をしたり麻雀をしたり、プロジェクターもあるため大画面で映画を観ることもできます。冷蔵庫や電子レンジ、IHコンロもあり自炊をすることも可能です。しかし、大学の周りには、安くおいしいお店がたくさんあるため自炊をする人はあまりいません。寮では、イベントがあるごとにパーティーなどをします。最近だとクリスマスパーティーをしました。

[授業について]

授業は1限(8:10)から14限(21:10)まであります。各時間の休み時間は10分間ありますが昼休みがありません。そのため、昼の授業になると授業中にご飯を食べている人がいます。基本的に1つの授業は2限分がセットになっています。体感的には、日本の授業よりも短く感じます。留学生は基本的にすべての授業を取ることが可能で、自分の学部以外でも興味のある授業を受けることができます。私は、英語も伸ばしたかったため、英語で行われている授業を取っています。台湾人の英語力が高く先生が英語で授業をするのはもちろん学生も英語を使って発表したりグループワークをしたりします。台湾人はとても優しくいつもわからないところを教えてください。また、外国籍対象の中国語は11限と12限にあります。中国語のクラスには、細かくレベル分けされていて、学期が始まる前に行われるテストによって自分に合うクラスを言われますが、それよりも上のクラスを取ることも可能です。また、クラスは二種類あり聽說(話す聞く)と讀寫(読み書き)に分かれています。聽說は月曜日と木曜日にあり、讀寫は火曜日と金曜日にあります。授業は少人数制なので中国語を伸ばすにはとてもいい環境だと思います。

